

二〇二三年五月一三日

御詠歌衆甘茶で喉を潤せり	なつき
湧き水にあそぶ春日を一掬す	むべ
信濃路を白く彩る花林檎	かえる
咲き揃ふ立浪草の波がしら	むべ
神名備の出自よろしき今年竹	うつぎ
里山の風をいなして竹の秋	たか子
獣めく皮脱ぎ捨てて今年竹	あひる
青嵐巫女の緋袴膨らませ	もとこ
祈願絵馬かち合ふ音や青嵐	ぼんこ
大杉も折れよと荒ぶ青嵐	あひる
くるくるとえご散る風の山路かな	むべ
入れ代はり立ち代はりして薔薇の虻	素秀
竹林の日の斑に遊ぶ雉の子	うつぎ
山頂は髪 of 逆立つ青嵐	ぼんこ

定例WEB句会みのる選

二〇二三年五月一三日